

第22回水戸運転協定期委員会開催！



水戸運転協議会は1月24日(日)水戸鉄道会館内において第22回定期委員会を開催しました。長谷川副議長の司会で始まり、委員会が成立していることを参加者で確認し、座長に水戸運輸区の上田さんを選出し議事進行しました。

初めに挨拶に立った菊池議長は、国鉄闘争で今までの取組み、3年前に運転・検修分科を作ってそれぞれ活動してきたが、役員会開催が常々開けなかった反省点など述べ

ました。また、検修の全面的な外注化施策に対しては、昨年12月13日開催のブロック別集会に取組んだことや、ダイヤ改正は1月26日提案予定になることなど挨拶しました。

来賓として水戸地本・佐藤委員長から！

JR不採用問題についてのこの間の動きについてと検修合理化としての外注化問題が出ているが、特に多くの人が出向となり、労働条件が大きな問題となる。組織拡大では、役員任せにしないで各職場・分会の取組みが大事と強調されました。

東日本運転協・木立議長から！

昨年12月の検修の全面的といえる外注化成案を受けてからの東日本本部・東日本運転協として取組んだ内容の経過報告と、もうすぐ第二次解明要求を「申」として会社に提出する準備を進めていること。これから提案されるダイヤ改正に要求事項として、「東日本勤務プロジェクト会議」が提唱している要求事項3点を取り入れてもらいたいこと。ダイヤ改正提案の中に検修外注化の先取り事項がないか注意を払ってほしい！と挨拶しました。

その後、中野事務長より運動方針(案)の提起があり、討論に移りました。
出された主な意見は

①検修外注化関係

- ・案として出された第二次解明要求への追加はできるか。
- ・構内部分の解明要求が少ないのではないか。
- ・他労組は情報がほとんど出ていない状況です。
- ・構内でも平成採の若い人たちはこの問題を気にしている。
- ・水戸の特状として、これからエルダー対象は少なくなる。
- ・情報をもっと出してほしい。(月一回でも出せないか)
- ・委託先と目されている会社は、準備を始めている模様。



- ・ 4月以降の実施となっているが、準備不足が見受けられる。実施するとしても、夏以降になるのではないのか。

②浦和事件で復職した吉田君に対して、他労組が掲示板を利用してあからさまな攻撃をしている。個人名を出すのは如何なものか。

③E531系の本線での故障対応時に派出が出動したが、床下機器の表記が汚れていて、よくわからなかった、対応に苦慮する。交番検査が時間内で終了できず、超勤が発生するため、検査の一部省略が実施されたが、この影響が出ている。

④ダイヤ改正の提案はどうなっているのか、内容はどうか。

限られた時間での発言でしたが、やはり検修外注化関係の発言が多い中味でした。また、検修外注化に対しての問題意識の高さをうかがわせる発言が多々ありました。

まとめとして、菊池議長からは検修の外注化に対して、反対の宣伝活動を強化していきたい。車両床下機器表記の汚れは交渉を行った部分もあるが、再度交渉の土台に上げる。と結びました。

さらに、長谷川乗務員分科長から、ダイヤ改正の要求集約についての発言があり、今後の日程では恒例となっている水戸の「お花見交流会」を今年も4月28日開催で準備を進めているとの報告がありました。



副議長は有田壽さんから坂本博之さんへ！

その後、役員改選に移り、副議長の有田壽（勝田車両センター・水戸派出）さんが退職を迎えるため、交代として坂本博之さんを副議長にとの提案を全員で確認しました。

最後に、長年水戸運転協を牽引してきた竹村茂さん（水戸運輸区）が今年1月末日で60歳を迎えることから、御挨拶を頂きました。本人は、エルダー社員として今後も国労組合員としてがんばっていくと力強い挨拶をされた。



最後に、菊池議長の音頭で「団結ガンバロー」で締め、同場所での交流会へと移りました！

竹村さん、長い間ご苦勞様でした。そして、今後も運転協への助言を宜しくお願いします！

水戸運転協の皆さん定期委員会ご苦勞様でした、共に働く者同士がお互いに力を合わせて闘いましょう！